

UNItex Print Filter Server

Linux 版 INSTALL MANUAL

UNItex JAPAN Co.,Ltd.

目 次

1 . 準備	1
2 . インストール	1
3 . パスワード設定	3
4 . 使用方法	3

インストールとセットアップ

1. 準備

添付のパスワード表をご用意下さい。

(サンプル版の場合は必要ありません。 サンプル版では1クライアントのみでご利用頂けます。)

2. インストール

インストール方法は、以下の通りです。

作業するマシンに
CD-ROMドライブが
ある場合

まず、スーパーユーザとしてログインし、インストールするマシンのCD-ROMドライブにCD-ROMディスクを挿入します。

CD-ROMをファイルシステムとしてマウントします。

```
# mount -t iso9660 -r /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

上記はTurboLinux3.0の例です。その他のLinuxディストリビューションについてはそれぞれのマニュアルを参照して下さい。

マウントが成功したら、インストール・コマンド `upfinstall` を使用してインストールを行います。

```
# cd /mnt/cdrom/linux/UPF/UPF-SERV
# ./upfinstall
```

作業するマシンに
CD-ROMドライブが
ない場合

また、インストールするマシンにCD-ROMドライブがなく、別のマシンにCD-ROMドライブがある場合には次のようにしてインストールします

- ・別のマシンでCD-ROMをマウントし、CD-ROMの内容を別ファイルに保存します。

```
# cd /mnt/cdrom/linux/UPF
# tar cvf /tmp/upfs_save.tar ./UPF-SERV
```
- ・この保存ファイルをインストールするマシンの/tmpなどへ`rcp`や`ftp`でコピーします。
- ・インストールするマシンの 作業用ディレクトリ (/tmpなど) などに展開します。

```
# cd /tmp
# tar xvf upfs_save.tar
```
- ・あとは、通常通り `upfinstall` コマンドでパッケージをインストールします。

```
# cd /tmp/UPF-SERV
# ./upfinstall
```

upfinstall を実行すると作業用ディレクトリ（通常は /tmp）とインストールするベースディレクトリ（通常は /usr/local）を聞いてきます。インストールするベースディレクトリ名を指定して下さい。

UPF-SERVの インストール例

```
# ./upfinstall
UPF-Server/Client Package Installing Script Start

Enter temporary directory [default:/tmp]
? /tmp

Copyright (c) 1999 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.

Enter install directory [default:/usr/local]
? /usr/local

Package Contents:
    UPF-SERV                UNItEX Print Filter Server

Installing UPF-SERV (UNItEX Print Filter Server)
[yes:y/no:n/quit:q]? y

Installing UPF-SERV ...
x ULP/bin/setPasswd, 61749 bytes, 121 tape blocks
x ULP/bin/upf.server, 520 bytes, 2 tape blocks
x ULP/bin/upfsrvsetup, 115117 bytes, 225 tape blocks
x ULP/bin/upfserver, 201392 bytes, 394 tape blocks
x ULP/bin/upfcbjcf, 628923 bytes, 1229 tape blocks
x ULP/bin/upfcbjctf, 28801 bytes, 57 tape blocks
x ULP/bin/upfemjcf, 633020 bytes, 1237 tape blocks
x ULP/bin/upfemjctf, 28801 bytes, 57 tape blocks
x ULP/bin/upfepm3if, 637121 bytes, 1245 tape blocks
x ULP/bin/upfepm5if, 637121 bytes, 1245 tape blocks
:
:
:
x ULP/pdf/pm5000c.pdf, 344 bytes, 1 tape blocks
x ULP/pdf/pm770c.pdf, 330 bytes, 1 tape blocks
x ULP/pdf/pscript.pdf, 203 bytes, 1 tape blocks
done

Package installing is successful.
#
```

UPF-Serverをインストールすると、サンプル版（1クライアント）となっています。申請したパスワードを設定することにより製品版としてお使いになれます。

- 3 . パスワード設定 パスワードの設定はUPF-Server用パスワードと各購入フィルタのパスワードの設定が必要です。

UPF-Server まず、UPF-Serverのパスワード設定は下記のように設定します。

```
$ su
# cd /インストールディレクトリ/bin 注) 通常は/usr/local/ULP/binです。
# ./setPasswd -object upfserver -userID YYYYY -passwd XXXXXX
```

YYYYY がCD-ROMに添付されている製品IDで、XXXXXX がパスワードになります。

製品IDはLUPP20001やLUPC30001などと記載されています。この製品IDの数字の部分(下5桁の数字)を入力して下さい。

各フィルタ 各フィルタのパスワード設定は下記のように設定します。

```
$ su
# cd /インストールディレクトリ/bin 注) 通常は/usr/local/ULP/binです。
# ./setPasswd -object upfcbjctf -userID YYYYY -passwd XXXXXX
# ./setPasswd -object upfcbjctf -userID YYYYY -passwd XXXXXX
```

上記のオブジェクト名 upfcbjctf, upfcbjctf は UPF-CBJC を購入した場合の例になります。他のフィルタの場合は下記のオブジェクト名となります。

パッケージ名	テキストフィルタ名	イメージフィルタ名
UPF-CBJC	upfcbjctf	upfcbjctf
UPF-EMJC	upfemjctf	upfemjctf
UPF-EPM3	-	upfepm3if
UPF-EPM5	-	upfepm5if
UPF-ESCP	upfescptf	upfescpif
UPF-ESCPG	upfescpgtf	upfescpgif
UPF-EEPGC	upfescpgctf	upfescpgcif
UPF-LIPS2	upfclips2tf	upfclips2if
UPF-LIPS3	upfclips3tf	upfclips3if
UPF-LIPS4	upfclips4tf	upfclips3if
UPF-LIPS4C	upfclips4tf	upfclips3if
UPF-PCL	upfpcltf	upfpclif
UPF-PCLC	upfpclctf	upfpclcif
UPF-PS	upfpstf	upfpsif
UPF-PSC	upfpsctf	upfpscif

パスワード設定をしないフィルタはサンプル版としてご利用頂けます。サンプル版の場合は当社のロゴが出力されます。

- 4 . 使用方法 サーバプログラムの使用方法は、UNItEX Print Filter Server ユーザーズ・マニュアルを参照してください。